

英語科学習指導案

令和4年〇月〇日（〇）第〇校時 〇〇教室

1年〇組 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 Program 7 Research on Australia (Sunshine English Course 1)

群馬を訪れる●●先生（元 ALT）に群馬の魅力を伝えよう。

2 教材観

(1) 学習指導要領上の位置付け

目標

(4) 話すこと [発表]

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

内容

(1) エ 文、文構造及び文法事項

(イ) 文構造 There + be 動詞＋～

(3) オ 話すこと [発表]

(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動

(2) 単元の価値

本単元では、自分の住んでいる地域などについて話題に取り上げ、**There + be** 動詞の文等を扱う。生徒は本校の元 ALT に小学生のときに英語を教えてもらっている。その親しかった ALT が群馬を再び訪れるため、生徒達におすすめの群馬の名所について尋ねる場面を設定する。それにより、相手が知りたい事柄について紹介するために生徒が主体的にコミュニケーション活動に取り組むことが期待できる。これまで名所の紹介については **This is** 〇〇. のように名称を伝える表現を用いていたが、**There is a big shopping mall in** △△. のように、名所がどのような場所でどこに位置しているなどより詳しく紹介することができるようになる。また、交通の手段を説明する表現を用いて、どのようにおすすめ場所に行くかを説明することもできるようになる。相手が群馬を訪れるための必要な情報を詳しく伝えることができるようになり、実生活により関連した話題や表現を扱うことができる。さらに、より相手の好む場所を紹介するために、相手の好みを尋ねることで、既習の表現を用いて会話することができ、必要感をもって言語活動に取り組むことができると考える。

(3) 今後の学習への活用

本単元で学習する **There + be** 動詞＋～の表現は、Program 9 「A trip to Finland」で、週末や長期休みにおける思い出を伝え合う活動を行う際に、思い出の場所について詳しく説明するために活用されると考える。また、2 学年においては、My Project4 「夢の旅行を企画しよう」という場面において、世界の有名な建築物や観光名所の紹介をする際に活用することができる。3 学年においては、Program6 において関係代名詞 **which** を用いて紹介する場所がどのような場所なのかより詳しく説明する際にも活用できると考える。

3 児童生徒の実態及び指導方針 (27 名)

(1) 既習の学習内容や活動

- ・ Our Project1 「あなたの知らない私」では、友だちが知らないであろう一面についてまとまりのある内容で伝えた。その際に、紹介したい話題について分かりやすく伝えるための文章構成や 1 つの話題に沿って紹介するような表現を工夫することができた。
- ・ 毎時間の授業のはじめに、帯活動として「Try to Talk」という活動を行っている。これまでの既習表現を用いて音読練習や質問をしたり、答えたりする活動に取り組んでおり、Do you like

～?のような相手の趣味などについての簡単な表現で会話をすることに慣れ親しんでいる。

(2) 本単元に関わる児童生徒の実態

【知識・技能】

- ほとんどの生徒が、自分の好みや身近な人について紹介するとき、既習の”I like～” ”He is ～” ”She can ～”などの表現を用いて、話したり、書いたり、伝えることができる。しかし、動詞、あるいは動詞のあとの目的を忘れてしまったり、単語で答えたりする生徒も少なくない。

【思考・判断・表現】

- その場の話題や相手の興味に応じて伝える内容を考え、スライドを用いて発表することができる。” Do you know～?” など既習の表現を用いてやり取りしながら伝えたり、” Because ～”を用いて理由を述べたりして、聞き手にとって理解しやすい発表となるよう意識できる生徒は少ない。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ICT 端末を用いて知らない表現を自ら検索するなど、自分の発表をよりよくつくり上げようとする生徒が多い反面、友達の発表のよいところを参考にしようとする生徒は少ない。

(3) 指導方針

- つかむ場面において、群馬を訪れる予定の元 ALT からの「群馬のことについて生徒達に教えてほしい」というビデオメッセージを視聴することを通して、生徒が群馬の名所を紹介する必要性を感じながら課題解決に取り組むことができるようにする。
- Small Talk や ALT とのやり取りや生徒との会話の中で、新出言語材料を積極的に使用することで、新出言語材料の活用場面に慣れるようにする。
- 帯活動”Try to Talk ”において、発表に使えるような既習の表現や質問の応答などを扱うことで、必要に応じて既習表現を駆使して発表することができるようにする。
- Google スプレッドシートを用いて群馬県の魅力について元 ALT に尋ねたいことを質問できるようにすることで、聞き手にとって魅力と思われる内容にしたり、より分かりやすく伝えたりするための工夫について考えたりして、自分の発表を改善できるようにする。
- 追究する場面において、友達同士で発表を聞き合う場面を毎時間設定することで、各時で扱った表現や友達のよさを参考にしたり、友達同士でアドバイスをしたりして、発表を改善できるようにする。
- まとめる過程において、オンライン上で生徒が元 ALT に群馬県の名所について伝える場を設定することで、自分の英語が通じた達成感や聞き手に喜んでもらえるうれしさを直に感じることができるようにする。

4 単元の目標

- 先生に群馬の旅を楽しんでもらうために、簡単な語句や文を用いて、群馬県の名所や魅力について分かりやすく説明したり、群馬で楽しめることを提案したりすることができる。

5 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<p>〈知識〉 群馬県の名所等を紹介するために必要な語や表現や There + be 動詞+～の表現や交通手段について表す表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 群馬の名所等について紹介したいことや薦めたい理由などを、There + be 動詞+～の表現や交通手段について表す表現などを用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>●●先生の興味を踏まえて紹介する場所を考えたり、群馬の名所等についてより分かりやすく伝えるために、発表の順序などを工夫したり、文脈を示す語を用いたりしている。</p>	<p>●●先生の興味を踏まえて、紹介する場所を考えたり、群馬の名所等についてより分かりやすく伝えるために、発表の順序や表現、方法等を工夫したりしようとしている。</p>

6 指導計画（全8時間予定）

○：記録に残す評価

学習 課程	時間	○ねらい ・学習活動	・主な指導上の留意点	評価の観点		
				知技	思判表	態度
つかむ	1 (本時)	○●●先生が魅力を感じられるような群馬の名所を紹介するためには何が必要かを考えよう。 ・紹介したい群馬の名所についてマッピングで考える。 ・既習表現を使って友達に群馬の名所について紹介する。 (試しの活動)	・生徒が必要感を感じるよう●●先生からのビデオレターで群馬について教えてもらいたい気持ちや興味などを伝える。 ・学習の必要性を感じるために既習表現だけを使って試しの活動に取り組みさせる。 【課題動画の提示、振り返り】	動本 の状 況時 を確 実には 記録 に残 す評 価は 行わ ない。 ただ し、 ねら いに 即し て生 徒の 活 動さ せて いる だけ にな らな いよ うに 十分 留意 する。		
追究する	2	○群馬県の名所について紹介することができる。 ・紹介する相手の興味がありそうなあるいは紹介したい場所について簡単な英文で紹介をする。	・紹介したい場所がどのような場所なのかわかりやすく伝えることができるように、その場所でできることや、いいと思う点を考えるよう促す。【Google Jamboard】			
	3	○行ってもらいたい場所へどのように行くことができるのか案内することができる。 ・名所への行き方について友達同士で質問したり、答えたりする。	・交通手段を一方向的に伝えるだけでなく、会話する場面を意識することができるように、二人組で会話する練習をさせる。【課題動画の提示】			
	4	○オーストラリアの名所にはどのようなところがあるのか理解する。 ・オーストラリアの名所やその特徴について理解する。	・名所についてどのような表現を用いて紹介されているかに注目させることで、学習した表現を復習することができるようにする。			
	5	○オーストラリアの名所を友だちに紹介する。 ・読み取れた内容について、友だちに名所や特徴を紹介する。	・自分が紹介したい名所の発表にも使用することができるような表現を取り上げる。			
	6	○群馬県の名所について聞き手に分かりやすい発表できるよう工夫する。	・分かりやすい発表に改善するために文脈を示す語句や話の組み立て方について取り上げる。 【Google Jamboard】		⊗	
まとめる	7	○友達同士でアドバイスすることでより分かりやすい発表にすることができる。	・自分の発表を客観的に見て改善できるように、ペアでお互いの発表を動画で撮影する。 【見本の動画の提示】	⊗		
	8	○●●先生に魅力を感じられるような群馬の名所を詳しく紹介できる。	・相手の理解度を意識した発表をすることができるよう、紹介するだけでなく相手の反応をよく見て話すよう促す。 ・相手に喜んでもらえたという達成感を味わうことができるよう、●●先生からコメントをもらう。 【オンライン上での外部人材との交流】	⊗	⊗	⊗

7 本時

- (1) ねらい 群馬県の名所を紹介するために必要な表現について考える。
- (2) 準備 Try to Talk(ワークシート)、大型テレビ、ヘッドホン(1人1個)、ICT端末
- (3) 展開

学習活動 ・予想される児童生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価 ◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価	アプリ等
1 あいさつ・ウォームアップをする。 (1) Try to Talk に取り組む (7分)	○簡単な表現を用いてやり取りすることができるように、ペアで質問に対して答えることができるような基本文を用意する。	
2 単元の課題をつかむ。 (1)●●先生からのビデオレターを視聴する。(3分) ・「もっと詳しく見てみたいな。」 ・「群馬に遊びにくるようだな。」 (2)ビデオレターを繰り返し視聴して、●●先生のお願いについて把握する。(7分) (3)単元の目標を設定する。(3分) ・「群馬の名所を紹介したいな。」 ・「●●先生の希望に添いたい。」 ・「詳しく質問してみたいな。」	○聞き取るポイントを意識することができるように、「●●先生が聞きたいことがある」「お願いがある」ことを知らせておく。 ○視聴する際は、一人一人のペースや聞き取りたいポイントに沿って内容を理解することができるように、ヘッドホンを使用する。 ○英語を使用する必要感を感じることができるよう、●●先生のお願いに沿った単元課題を設定する。	・動画 ・Google Jamboard ・ヘッドホン
単元の課題 ●●先生が群馬の旅を楽しむことができるように、群馬の名所を紹介しよう。		
3 本時のめあてをつかむ。		
本時のめあて 群馬の名所を紹介するために何が必要かを考えよう。		
4 本時の活動に取り組む。 (1)ビデオレターを繰り返し視聴しながら、●●先生のお願いと紹介したい群馬の名所を関連付けたマッピングをする。(10分) ・「●●先生のやりたいことができる場所はどこだろう。」 ・「○○を●●先生に紹介したいな。」 (2) ペアでマッピングの内容を元に群馬の名所について紹介する。(試しの活動) (10分) ・「○○って英語で何て言うのかな。」 ・「学習した表現が使えるな。」 (3)群馬の名所を紹介するためには、何が必要なのか自分の考えを発表する。(5分) ・「おすすめする表現が分からないな。」 ・「場所についての表現が難しいな。」	○マッピングを作成する際には、聞き取れた内容と紹介したい群馬の名所や名物との関連がわかるように、色を分けてマッピングするように促す。 ○聞き取れた内容に沿った名所について考えることができるように、必要に応じて検索して調べてみるように促す。 ○何を学ぶ必要があるかを気付くことができるよう既習の表現だけで取り組むようにする。 ○どのような表現で紹介できるとよいか、紹介するためには何を知っているとよいかについて考えることができるように、紹介するときに難しいと考えたことを振り返るように促す。	・Google Jamboard ・Google Jamboard

	◇●●先生が魅力を感じられるような群馬の名所を紹介するためには何が必要かを考えている。 〔観察、振り返りシート〕	
5 本時の振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「●●先生にぜひ○○に行ってもらいたい。」 ・「○○は英語で何というか知りたい。」 ・「●●先生が○○は好きかどうか知りたい。」 ・「●●先生が○○を訪れるためにはどんな情報が必要だろう。」 (5分)	○めあてに沿って、どんな学習や情報が必要か振り返らせる。 ○本時の活動を振り返り、課題解決のために必要なことは何かという視点で考えるように促す。	・ Google フォーム

8 板書計画

Program Goal ●●先生が群馬の旅を楽しむことができるように、群馬の名所を紹介しよう。

Today's Goal 群馬の名所を紹介するためには何が必要かを考えよう

紹介して難しかったこと

- ・ 場所の紹介はできなかった
- ・ どの場所がいいか思いつかなかった
- ・ 場所の名前しか言えなかった

↓

- ・ 場所についての紹介
- ・ こんな場所がある
- ・ 群馬で有名（人気）なもの
- ・ ●●先生が知っている場所



<ゴール例> (スライドを見せながらの発表)

Hello, ●● sensei. I'd like to talk about the best plan in Gunma for you.

Look at this map.(slide 1) This is Minakami. You can go there by car. It's good place to you.

.I have two reasons.

First, Minakami has a lot of nature. You can see beautiful mountains. There are many camping sites. You like camping. You can enjoy camping there.

Second, Minakami has delicious sweets. I like onsen manju. It's an onsen sweet bun. Please try it. Thank you.

(資料) <振り返りシート (入力フォーム)>

生徒は毎時間、振り返りシートを入力し、提出します。

教えて！ ●●先生！！

1年間を通した目標 (発表)

◎自分自身や友だち、先生などの他人のことについて、学習した様々な表現を使用して紹介することができる

ようになろう！

Program 7の目標

◎●●先生が群馬の旅を楽しむことができるように、群馬の名所を紹介しよう！

☆このフォームの使い方☆

本時のlesson No を選択し、

①●●先生への質問を英語で記入しましょう。

②本時で学習した表現を記入しましょう。

記入後、送信をしましょう。



@ota.ed.jp (共有なし) アカウントを切り替える



*必須

出席番号を選択しましょう。*

選択

名前を記入しましょう*

回答を入力

lesson No を 選択しましょう。*

選択

●●先生への質問を英語で記入しましょう。*

< 振り返りシート（入力フォームと連携したスプレッドシート） >

①

lesson No	Questions	学習した表現	振り返り
1	What sweets do you like?	This is a good restaurant.	場所の紹介は初めてだったので、うまく伝えることができませんでした。
2	Do you know Premier?	There is a good restaurant in Ota.	レストランや自然が素敵な場所が〜にある、と伝えるようになりました。

① 生徒が各一単位時間の最後に振り返った内容を自分で確認することができます。単元の終末では、その全時間の記録から本単元での学びを振り返ることができます。

②

lesson No	-- lesson No を ▼ で選びましょう。	
学籍氏名	Questions	学習した表現
1 太郎	What sweets do you like?	This is a good restaurant.
2 花子	Do you like Yakisoba?	This is delicious yakisoba in Ota.
3 板東 太郎	What is your favorite food?	My favorite food is Ota Yakisoba.

② 教師が各一単位時間の振り返りについて全生徒分をまとめて確認することができます。そこから生徒の実態を把握し、次時の指導に生かすことができます。

③

教えて！先生！！			
Date	Name	Questions	Answers
11/2	太郎	What sweets do you like?	
11/2	花子	Do you like Yakisoba?	
11/2	板東 太郎	What is your favorite food?	
11/2	太郎	Do you know Premier?	

③ 生徒は、つかむ・追究する過程の振り返りで、よりよい課題の解決のために、群馬について紹介したい相手への質問をフォームに入力します。質問をまとめたシートはその相手と共有できるように設定しておきます。相手は随時回答することができるので、生徒が聞きたい情報を手に入れやすくなり、課題解決についての工夫が広がります。